

スマホ向けアプリ「なみすけのごみ出し達人」^{マスター}配信！

本日、1月6日より、23区初のごみ出しに関するスマートフォン向けアプリケーション「なみすけのごみ出し達人」の配信を開始しました。区では、スマートフォンの利用層である若年層をメインターゲットにして、ごみ出しマナーの向上や23区最少レベルのごみ量の更なる減量を目指します。

杉並区ではこれまでごみ・資源の収集日のお知らせや分別案内のため、紙媒体により「ごみ・資源の収集カレンダー」を、区内の全家庭・全事業所に配布してきました。また、区の広報紙や清掃情報誌、公式ホームページでも分別の周知を行ってきました。その結果、一人あたりのごみ排出量は、平成24年度は23区では最も少ない528g(23区平均579g)となりました。しかし、ごみの最終処分場は中央防波堤埋立地以外にあてがなく、その寿命も50年あまりと言われています。そのため、さらにごみの排出量を減らすため、さらにごみ出しのマナー向上のため、紙媒体による周知が届きにくい世代への周知方法を模索してきました。

このたび開発した「なみすけのごみ出し達人(マスター)」は、単身世帯の若年層や幼い子どもを持つ夫婦層を主なターゲットとし、いつでも容易にごみ・資源に関する情報を入手できるアプリケーションとなっています。このアプリケーションは、ごみ・資源の収集現場を熟知した清掃事務所職員がアイデアを出し合いました。

23区では、杉並区が初めて導入しました。全国的にも、横浜市、富士市、盛岡市、鎌倉市、周南市、西東京市に次ぐものです。これまでのアプリは、企業からの提案をもとに導入したのですが、杉並区では職員ならではのアイデアをもとに一から作りあげています。

OSは、iOS、Androidに対応し、主な機能は、区からのお知らせ配信やごみの日カレンダー、それを知らせるアラーム機能、分別辞典、粗大ごみ受付システムへのリンクとなっています。

ごみの出し方は、自治体ごとに異なりますが、ごみを減らすことやマナーを守ってまちを美しく保つことは、どこにでも共通するものです。このアプリでは、清掃事務所職員が描いたオリジナルの絵と保育園の職員が音声をつけた紙芝居が見ることができます。

この紙芝居は、子どもでもわかるようにリサイクルの大切さやごみの分別の徹底でごみを減らすことができることなどを説明。分別ゲームとともに、環境学習に活用できますので、杉並区民でなくても、ご興味のある方は、ぜひダウンロードしてみてください。



【問い合わせ先】 杉並清掃事務所 3 3 9 2 - 7 2 8 1
総務部広報課 3 3 1 2 - 2 1 1 1